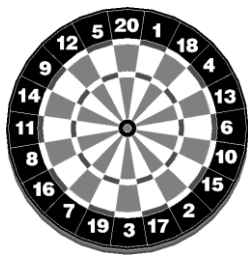


英語コミュニケーションI

学習目標



科目：英語コミュニケーションI
履修：1年
共通
3単位

実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりする力を養う。

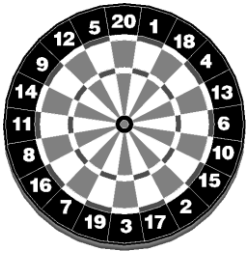
聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

年間授業計画

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
前 期	4 Unit 1 What can happen in one second?	つながり言葉 受け身、不定詞、動名詞
	5 Unit 2 What do superstitions mean to you?	伝聞表現、相づち等のリアクション 助動詞+受け身、現在完了進行形
	6 Unit 3 How can we promote sustainability?	Eメールで使われる表現 分詞の形容詞用法、関係代名詞
	7 Unit 4 What can we learn from native Hawaiians?	時系列に並べるための表現 現在完了形の受け身、過去完了形
	9	1時間は、グループ単位でのプレゼンテーションを行います。様々なテーマに共感したり、一方では問題意識を持ったり、そういった知的好奇心の裾野を広げる時間です。残り2時間のうち1時間は、英語圏のニュースを使って、聞き取りやディスカッションを行います。最後の1時間は、教科書を使って、ディスカッションやライティング活動を行います。
後 期	10 Unit 5 Why do people tell each other stories?	句動詞 SVOC（分詞）、関係副詞（how）、助動詞の過去形
	11 Unit 6 What are the qualities of a good leader?	関連性のある情報を簡潔に伝える表現 分詞構文、関係副詞（where等）
	12 Unit 7 Where will you live in the future?	時間や場所に関する表現 原形不定詞、仮定法過去完了、過去完了進行形
	1 Unit 8 How do cultures and traditions affect teens' lives?	理由、譲歩、時などのつながりを表す表現 関係代名詞（what）、関係代名詞の非制限用法
	2	Performance Test では、その場で与えられたトピックについて、英語による即興のやり取りを行う力を測ります。日頃の授業で積極的に発言したり、ディベートやディスカッションに全力で取り組むことが一番の対策となります。また、年間4回行われる考査は、かなり広い試験範囲となります。計画的に学習を進める習慣を身に付けましょう。
講習	土曜講習と夏期講習を実施する。講習は大学入試問題等を扱う機会になる。適切な解答をつくるために必要な語彙や文法の知識、そして制限時間の中で解答する力を身に付けるための貴重な時間です。これらの講習は、自学習の質を高めることにつながるので、積極的に活用すること。	
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・年間4回実施される定期考査 ・小テストや課題への取り組み ・プレゼンテーションやディスカッション等の授業内活動 ・パフォーマンス・テスト 	

英語コミュニケーションⅡ

学習目標



科目：英語コミュニケーションⅡ
履修：2年
共通
4単位

幅広い話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして、伝える能力を更に伸ばすと共に、積極的にコミュニケーションをはかろうとする態度を育てる。

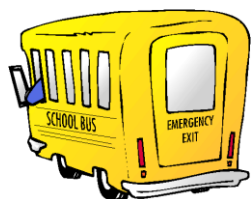
英語が実質的な国際語であることの認識を深め、獲得した英語力を使って、さまざまな国際問題や、国際関係のあり方について、自発的に考察するための手がかりを得る。

年間授業計画

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
前 期	4 Unit 1 What can we do to prevent endemic species from becoming extinct?	助動詞＋完了形／不定詞の意味上の主語
	5 Unit 2 Which sports can really be called sports?	受け身の不定詞／助動詞doによる強調
	6 Unit 3 How do we choose what we eat?	先行詞を含む関係副詞／否定語の倒置
	7 Unit 4 How have inventions changed history?	強調構文／関係副詞の非制限用法
9	1時間は、グループ単位でのディベートを行います。様々なテーマに共感したり、一方では問題意識を持ったり、そういった知的好奇心の裾野を広げる時間です。残り3時間のうち1時間は、英語圏のニュースを使って、聞き取りやディスカッションを行います。最後の2時間は、教科書を使って、ディスカッションやライティング活動を行います。	
後 期	10 Unit 5 What can we learn from traveling?	接続詞＋分詞／完了不定詞
	11 Unit 6 How do people's personalities affect their behavior?	部分否定
	Unit 7 Who should we celebrate on our memory?	受け身の進行形／be動詞＋不定詞
	12 Unit 8 How can we find out if news is real or fake?	複合関係副詞
	1 Unit 9 What is important when choosing a job? Unit 10 How can we improve our school?	過去の習慣 未来進行形／未来完了形
2	Performance Test では、その場で与えられたトピックについて、英語による即興のやり取りを行う力を測ります。日頃の授業で積極的に発言したり、ディベートやディスカッションに全力で取り組むことが一番の対策となります。また、年間4回行われる考査は、かなり広い試験範囲となります。計画的に学習を進める習慣を身に付けましょう。	
講 習	土曜講習と夏期講習を実施する。講習は大学入試問題等を扱う機会になる。適切な解答をつくるために必要な語彙や文法の知識、そして制限時間の中で解答する力を身に付けるための貴重な時間であり、自学習の質を高めることにつながるので積極的に活用すること。	
評 価 の 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・年間4回実施される定期考査 ・小テストや課題への取組 ・ディベートやディスカッション等の授業内活動 ・パフォーマンス・テスト 	

英語コミュニケーションⅢ

学習目標



科目：英語コミュニケーションⅢ
 履修：3年
 共通
 4単位（αβ各2単位）
 文類型必修（2単位）

3年次の英語授業の中核をなす授業。高度な英語力をつけるために、発展的内容や高度な語彙、オーセンティックな教材を取り扱っていく。

英語を聞いたり読んだりして、情報や書き手の意向などを理解する。さらに、自分の理解したことや、それに基づいて形成した自分の考えを、書いたり話したりして論理的に伝える。これまで培ってきた能力をさらに伸ばし、学術・社会生活において活用できるようにする。

年間授業計画

月	α（2単位）	β（2単位）	文類型（2単位）	
前期	4	Unit 2 Enjoy the Ride Selecting Information Writing: a story Unit 3 Active Lives	Chapter 9 U字曲線（時事・社会） Chapter 10 17世紀のSNS（時事・社会） Chapter 11 利他主義と利己主義（社会・心理）	UPLIFT Chapter 1-6 Random Challenge Unit 1-4
	5	A balanced view Writing: an opinion essay Unit 4 Food	Chapter 12 科学と物語（科学） Chapter 13 社会的評価（社会・心理） Chapter 14 認知能力（科学）	Clover Unit 1-4
	6	Persuading Writing: a social media update	Chapter 15 西洋から見た砂漠化（環境） Chapter 16 サリーを1か月（エッセイ）	
	7	Unit 5 Work Exaggerating Writing: a cover letter	Unit 1 文化・国際理解 Unit 2 フィクション・エッセイ① Unit 3 フィクション・エッセイ②	UPLIFT Chapter 7-12 Random Challenge Unit 5-8
	9	Unit 6 Superhuman Bold claims Writing: describing people		Clover Unit 5-8
	後期	10	Unit 7 Shopping Around Reading between the lines Writing: an announcement Unit 8 Effective Communication	Unit 4 教育・人生 Unit 5 科学・生物 Unit 6 時事・社会 Unit 7 歴史・文明
12		Using direct speech Writing: a complaint email		Clover Unit 9-15
1		Unit 9 Unexpected Entertainment Supporting your argument Writing: describing a place and its culture		
2		Unit 10 Time Drawing conclusions Writing: a pro and con essay	700語以上の長文①② 大意要約演習	問題演習
講習	夏季休業中および冬季の特別時間割の際に、適宜講座を開講する。			
評価の方法	定期考査および平常実施される小テスト、パフォーマンス・テスト、また予習・授業等への取り組みから総合的に評価する。			

論理・表現 I

学習目標



科目：論理・表現 I
履修：1年
共通
2展開
2単位

英語でのやり取りを通して、考えや気持ちなどを伝え合ったり、必要な情報を得たりすることができる。
発表活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、意見や主張などを論理的に伝えることができる。
聞いたり読んだりしたことを活用し、論理の構成や展開を工夫しながら意見や主張を書いて伝えることができる。

年間授業計画

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
前 期	4 Lesson 1 OriHime	スピーチ/時制
	5 Lesson 2 Breakfast Makes Perfect	プレゼンテーション/助動詞
	6 Lesson 3 Cool Japan	ライティング/受動態
	7 Lesson 4 Save Our Planet	ディスカッション/不定詞
	9 Lesson 5 Volunteer Work for What?	ディベート/動名詞
<p>4月～7月にかけて、スピーチの作成・発表を行います。校内選考の上位者は東京都高等学校英語スピーチコンテスト（10月）に出場する予定です。さらに勝ち抜くと、全国高等学校英語スピーチコンテスト（2月）の出場資格を得られます。</p>		
後 期	10 Lesson 6 Another Life I Might Have Had	スピーチ/分詞
	11 Lesson 7 What is Our Greatest Invention?	プレゼンテーション/比較
	12 Lesson 8 Discover Japan	ライティング/関係詞
	1 Lesson 9 Urban Life or Rural Area	ディスカッション/仮定法
	2 Lesson 10 Music Without a Pianist	ディベート/接続詞
<p>12月～3月にかけて、「五領域統合型授業」による高度なサイエンス・コミュニケーション能力の育成の一環として、理数探究基礎で取り組んだ論文の要約(abstract)を英語で作成します。また、その内容をALTに英語で説明します。</p>		
講習	英語コミュニケーション I に同じ。	
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・年間4回実施される定期考査 ・小テストや課題への取組 ・スピーチやディスカッション等の授業内活動 ・パフォーマンス・テスト 	

論理・表現II

学習目標



科目：論理・表現II
履修：2年
共通
2展開
2単位

英語で自分の伝えたいことを発信できる英語運用能力を伸長することを目標に、受信活動と発信活動をバランスよく学習する。1学年で学んだ、文法力・語彙力・構文力を応用し、文法的に正確な英文を書く力を養う。

さらには、単なる和文英訳にとどまらず、英語らしい自然な文と論理構成を学び、ある程度の長さの英文を自力で構成できるようにする。

年間授業計画

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
前 期	4 Lesson 1 Dear Mayor, Lesson 2 Manga Find Ever-increasing Global Fans Paragraph Writing (1)	希望・願望／依頼・要請／許可 感情を表す表現
	5 Lesson 3 Japanese Baths Lesson 4 Innovators of the World Paragraph Writing (2)	忠告・義務／必要／提案・勧誘 時間的順序
	6 Lesson 5 Don't throw us away! Lesson 6 Urban Development Paragraph Writing (3)	例証／分類・列挙 空間配列・方向
	7 Lesson 7 Food and Culture in the World Lesson 8 The Potential for E-Sports Paragraph Writing (4)	方法・様態／数量表現 賛成・反対
9 Lesson 9 All Gone? Lesson 10 The "New Normal" at School	原因・理由／目的／結果 比較・対照／譲歩	
後 期	10 1. 主語の決定 (1) 2. 主語の決定 (2) Paragraph Writing (5)	主語の選定 一般論の主語
	11 3. 目的の表現 4. 理由の表現 Paragraph Writing (6)	不定詞 / so that S+V 理由を表すさまざまな表現
	12 5. 時制 (1) 6. 時制 (2) Paragraph Writing (7)	現在完了形と過去形 未来や現在を表す表現
	1 7. 動詞の語法 SVOC 8. 関係代名詞・関係副詞 Paragraph Writing (8)	知覚動詞・使役動詞 制限用法と非制限用法
2 9. 時間の表現 10. 数字の表現	完了形や未来表現とともに使われる副詞句 年代、序数、分数など	
講 習	英語コミュニケーションIIに同じ。	
評 価 の 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・年間4回実施される定期考査 ・小テストや課題への取り組み ・ディスカッション等の授業内スピーキング活動 ・授業内ライティング活動 	

論理・表現Ⅲ

学習目標



科目：論理・表現Ⅲ
履修：3年
共通
2単位

1、2年次で学習した文法事項やライティングの基礎に則って、さらに英語らしい正確な文を書くことを学習する。特に論理の展開や表現の方法を工夫しながら正確に伝える能力を伸ばす。

和文英訳と自由英作文に取り組む。1、2年次の学習事項の復習的な要素も含まれるので、文法事項の最終確認も行う。また語法・イディオム等も必要に応じて確認する。

年間授業計画

月	和文英訳	自由英作文
前期	4 Part I 表現別 1 目的・意図 2 原因・理由 3 結果・程度 5 仮定・願望・依頼	賛否・提案①②③ タイムライティング①
	5 4 条件	
	6 6 譲歩・対立(1) 7 譲歩・対立(2)	図表①② 写真・イラスト①②
	7 8 否定 9 比較・比例(1) 10 比較・比例(2)	コラボレイティブライティング①②
	9	
後期	10 11 関連・除外・様態 Part II 話題別 12 受け身・使役・可能 13 時間・数量・習慣 14 強調・疑問・推測 15 当然・助言・命令 16 自然・社会 17 文化・言語 18 人生・日常 19 健康・趣味 20 通信・情報	タイムライティング② 読解融合型①② リスニング融合型①② 日本語読解型① コラボレイティブライティング③④
	11	
	12	
	1	
	2 Part III 自由英作文・課題英作文	自由英作文課題
講習	英語コミュニケーションⅢに同じ。	
評価の方法	定期考査および平常実施される小テスト、また予習・授業等への取り組みから、総合的に評価する。	